

富士川まちづくり協議会だより

2023. 2. 1 発行 NO. 2
 富士川地区まちづくり協議会
 電話 0545-81-1111

市長との行政懇談会



富士川地区 行政懇談会

令和4年度富士川地区行政懇談会が、令和4年8月31日（水）19時より富士川まちづくりセンター2階多目的室で開催されました。行政からは、小長井義正市長をはじめ森田副市長以下関係課長出席のもと、地区からは28名が参加しました。今回富士川地区からは、2件の当日回答、1件の文書回答の計3件の要望を提出いたしました

- 今回のトピックス
- 【市長との行政懇談会】
 - 【デマンドタクシー】
 - 【各部活動報告】
 - 【ボランティアの募集】

富士川まちづくりセンターのエレベーター設置について

（まちづくり課当日回答）

- ・地域コミュニティの核として、学校等との複合化を検討
- ・複合化を図るまでの期間、施設を適正に維持管理し、長寿命化を図るための改修を実施
- ・「地区まちづくりセンター整備基準」（平成30年度策定）改修内容
 - ①エレベーターの整備や段差の解消などのバリアフリー化
 - ②湿式トイレから乾式トイレへの変更および便器の洋式化
 - ③調理室、ロビー等への空調設備の新設などの室内環境の向上
 - ④省エネルギー型の設備機器への更新

※基本的に建築年度の古い施設から順次改修工事を進めていく計画となっているため、富士川まちづくりセンターについては、改修順位は高くない状況である。

- ・ユニバーサルデザインの観点からも、エレベーターが設置されていないセンターの改修順位の繰り上げ及び改修工事までの間の応急処置（1階和室の洋式化等）地区と協議し検討。



まちづくり協議会
 丹羽三郎 会長

富士山が見える富士川河川敷を活用して、富士川地区だけでなく富士市全体を盛り上げる



まちづくり協議会
 松本妙子 副会長

（みどりの課当日回答）

- ・富士川地域を含む富士川河川敷区域は、第六次富士市総合計画の土地利用構想で富士川レクリエーション交流ゾーンに設定され、河川敷を生かすスポーツによる交流を軸としたふれあい、にぎわいのある地域を形成する区域と位置付けている。
- ・水洗トイレは、河川区域内では地中に浄化槽を設置することや処理水の排出が認められていないため、憩いの広場への設置は難しい。
- ・憩いの広場の南側に富士川右岸緑地の整備計画があり、一部施設（野球場2面）は富士川キウイ野球場として整備済み。現在事業中の富士川左岸緑地の再整備が完成後、令和8年度から右岸緑地整備事業を再開し、野球場2面のほか、ファミリーゾーンとして遊具、東屋、駐車場などを整備する予定。

- ・現時点で改良の計画は無いが、右岸緑地整備完了後に施設利用状況・周辺交通状況を把握した上で必要性を検討する。

文化教養部

文化祭



ふれあいホール玄関前 コロナ対策

広報部



SNSの広報活動の検討開始

ボランティア活動に参加しませんか！

～10年後の富士川地域は、どんな地域活動を行っているのでしょうか？～
現状で分かる一番の問題は、担い手不足です。
 〈これからの活動〉 ⇒ 〈住民みんなが力を合わせて活動していく〉

〈ボランティアの現状〉

- 60代～70代の男性中心の組織である。
- 今までの牽引役であった団塊世代の人々が後期高齢者に突入り徐々に引退をしている。
- 富士市内の地域の中では、高齢化率が36.8% 一番高い



担当 副会長 藤沼毅

人口の半数を占める女性の皆さんには、女性の視点を活動に生かしていただけるよう、積極的に参画をお願いいたします。

これまでの活動の具体的な内容につきましては、

- ◆50代以下：夏まつり・文化祭・体育祭等のお祭ごとの企画・運営へのご参加
- ◆60代以上：今までの経験を活かし、福祉・環境・防災・交通安全などへのご参加をしていただいております。

また、上記にとらわれず10代後半の若者から高齢者の皆さんまで、得意な分野での活躍もお願いいたします。

P3～P4 掲載の専門部の活動をご覧になり、ご興味のある方はまちづくりセンター受付に配置の申込用紙にて、お気軽に参加のお申し込みをよろしくお願いいたします。
 募集人数・募集期間は特に定めません。



写真で見る令和4年度の活動



本部

ふじかわ夏まつり



生活安全部

交通安全週間



森田正郁副市長の応援

防災部

相生町区の放水訓練



体育保健部

大運動会（小・中学校、一般 合同）



競技 台風の目

青少年育成部

安全パトロール



福祉部

コロナ、フレイル予防！講演



講師 地域保健課 村松美恵子さん

環境部

一斉清掃活動



河川敷ふれあい広場

富士川地区における施設一体型小中一貫校について



区長会

長橋啓文 旭町区長

（教育総務課文書回答）

富士市では、義務教育9年間を一体として捉え、児童生徒の学びの連続性を保障し、一貫した教育の充実を図るため、小中一貫教育を進めており、令和6年度までには、富士市内全ての中学校区において小中一貫教育を実施していく。

また、富士川第一小学校では、既に令和2年にコミュニティスクール制度（保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」制度の導入により、地域の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を推進する。）を導入、令和6年度には、富士川第一中学校を含め、市内の全中学校にコミュニティスクール制度を導入する予定。

ただし、中学校区ごとに、小学校校舎と中学校校舎の距離や児童生徒数が様々なため、当面は施設分離型での小中一貫教育を進めていく。校舎については公共施設の維持管理に関する様々な方針や指針によって、各施設とも65年程度は使用していくこととしており、小中一貫校となるのは、早くとも校舎の改築計画に基づき、令和12年度頃となる予定。

当日の関連質問

| 質問内容および質問者 | 回答 |
|---|---|
| まちづくりセンターの災害時の避難所としての機能への措置 （長橋啓文岩淵旭町区長） | 稼働率を考慮し、利用されている団体への配慮や防災機能を損なわないような多目的な活用を視野に入れ計画していきたい |
| アルカディア南部総合公園（山梨県南部町）を参考にした提案（松本妙子副会長） | レイアウト案、参考としてお預かりする |
| 河川敷のトイレの増設 （井出和雄副会長） | 利用者数を見てバイオマストイレへ新設置時は和式から洋式への変更 |
| 河川敷への進入路の改善 （望月知己第一小PTA副会長） | 利用状況見て検討、必要あれば国交省に整備依頼 |

富士川地区デマンドタクシー「ふじかわ」

令和4年10月1日から富士川地区デマンドタクシー

「ふじかわ」の実証運行を開始しました。

令和6年9月30日までの2年間、実証運行を行います。

会員登録申請書は、富士川まちづくりセンターに置いてありますので、ご利用ください。

◎富士川地区内の利用は1乗車400円（小学生は200円、未就学児は無料）

◎富士川地区外の利用は1乗車500円（小学生は250円、未就学児は無料）



利用状況：10月度128名(106台) 11月度200名(173台)
会員登録者数とする。累計で、676名です。

主な駐車場

共立蒲原総合病院・JR富士川駅・富士川まちづくりセンター・富士川ふれあいホール・富士川体育館・富士川楽座・金指医院・宮沢内科医院・エスポート富士松岡店・樫村胃腸科外科